

# 頼高市長のあったか市政を問う

## 一般質問

12月定例会では12・13・14日の3日間で14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長  
三輪 かずよし



## 一般質問

比企 孝司 議員（新生会）

### 「急げ」下水道管路の老朽化対策

**議員** 昨年11月に発生した福岡市の道路陥没事故は、規模の大きさ、近隣への影響等、とても驚かされた。これほど大規模ではないものの、下水道管の老朽化に起因した道路陥没は、平成26年度に全国で3千300件発生していると報告されている。本市における下水道管路布設後の経過年数はどのようか。また、耐用年数との関係や、老朽化に対する修繕の件数はどのようか。

目的と内容、進捗状況はどのようか。

**都市整備部長** 今後、老朽化による不具合の増加が予想される中、現在行っている事後保全的な対応だけでは、市民生活や経済活動へ与える影響が大きいくとあわせ、費用の急激な増大も懸念される。そのため、本計画は下水道管路が起因となる事故の未然防止や改築費用の平準化を目指すなど、既存施設の予防保全を行うことを目的とし、段階的な施設の機能回復を図る構想をまとめるものである。進捗状況としては、既存情報の収集整理やリスク評価の検討を行っているところであり、今後、点検調査や改築修繕の優先順位づけを行い、計画を取りまとめていく。

### 留守家庭児童指導室について

**議員** 今後の課題と運営、開設方法の見通しはどのようか。また、民設民営による留守家庭児童指導室の運営を検討するべきと考えるがどうか。



来年度に開室する塚越小学校区の留守家庭児童指導室（2月中旬現在の状況）

**健康福祉部長** 利用希望者が増加する中、新たな指導室整備に適した市有地や余裕施設にも限りがあり、指導員の確保も難航するなど、施設面、運営面ともに困難な状況が続いている。このことから、これまでの公設公営や公設民営による運営だけで対処するのは厳しい状況もあり、民設民営による留守家庭児童指導室の開設は、新たな施設整備の手法として調査・検討したい。



ひき こうじ

## 地域包括ケアシステムの構築について

**議員** 地域包括ケアシステム構築の現状と今後の課題はどのようなか。

**健康福祉部長**

現在、地域包括ケアシステム構築に向けた各施策を進めているところであるが、これには市や地域包括支援センター、福祉関係者だけでなく、医療関係者、町会等の住民組織、ボランティア、NPOなど、さまざまな団体、個人の協力が必要であり、こうした地域の力をいかに結集し、連携していくことができるかが課題である。

**議員** 高齢者だけでなく、地域では、障害児・者、生活

困窮者、子育て世代など幅広い方々への支援が必要である。それをどのように支えていくかが地域福祉の目的であり、問題解決のために市民や地域自治組織、民生・児童委員、社会福祉協議会、ボランティア等の多様な力を集結し、行政と協働して、地域の特性に応じた支援体制を作ることが必要だと考える。

### 認知症施策について

**議員** 徘徊高齢者対策として「見守りシール配布事業」は有効と考えるがどうか。

**健康福祉部長**

徘徊の見られる認知症高齢者が保護された場合、早期に個人を特定する目的で、靴やふだん身につけているものに張りつけられるシールを作成し、配布している自治体がある。本市では徘徊高齢者の方が、専用の端末機を携帯する



たかはし えつろう

ことで居場所を知ることができサービス利用料等を一部助成しているが、「見守りシール」やその他の方法についても研究していきたい。

### アクティブシニアの生きがいについて

**議員** 介護ボランティア活動による「介護支援いきいきポイント事業」の導入についてはどうだろうか。

**健康福祉部長**

ボランティア活動の活性化やご本人の健康維持をねらいとして活動に参加して与えられたポイントを品物や地域通貨、福祉サービス利用料等に換えられる事業を実施している自治体などがあることは認識をしているがポイントが付与される活動内容やポイントを利用することのできる範囲など、多くの分野にわたる事業でもあるので引き続き検討したい。

**ほかに** 「高齢者の運転事故」「災害時のトイレ」について

質問。

## 24時間営業コンビニ等へのAED設置を！人と猫が共生できるまちづくりを進めよう！

**議員** 現在、市内の公共施設や民間施設のAED設置状況はどうなっているのか。

**健康福祉部長**

平成28年9月末現在、121台の登録があり、学校、保育園、市庁舎、公民館、警察署等の公共施設のほか、商業施設、医療機関、会社・事業所、介護施設等に設置されている。

**議員** AEDについては、休日・深夜に利用できる場所への設置が課題であるが、街頭での救命活動に備え、市内の



地域で猫を見守る「地域猫活動」の推進を

全コンビニに設置の協力を本格的に働きかけてはどうか。

**消防長**

コンビニエンスストアの管理者等に対し、救命手当の重要性や必要性を呼びかけ、自主的な設置協力を促していきたい。また、要件を満たしている団体等にAEDの貸出事業を開始し、市民の救命率向上に努めている。

**議員** 犬猫等のペット飼育需要が高まっている一方、飼育放棄された飼い猫やその子孫が野良猫となつて増え、糞尿による悪臭問題や無責任なえさやりが住民間のトラブルを招いている。そこで国（環境省）が勧奨する住民・ボランティア・行政の三者協働による「地域猫活動」を支援する自治体が増えてきているが、本市も検討する考えはないか。

**市民生活部長**

地域猫活動は、野良猫の自然繁殖の抑制や糞尿による悪臭、鳴き声といった生活環境への悪影響を防止するといったことから、有効な活動であると認識している。



いちのせき かずいち

しかしながら、時間を決めたえさやりや残ったえさの片づけ、トイレの設置や糞の後始末など、ルールを決めるなどをして適切な管理が必要であり、これは地域住民の十分な理解と協力が不可欠となるので、慎重に検討していかなければならない。

### 北町新通り再整備について

**議員** 当市（北町1丁目～4丁目）と川口市（芝園町～芝富士1丁目）の市境に位置する北町新通り再整備の見通しについてはどうだろうか。

**都市整備部長**

平成26年度に実施した路面性状調査では、維持修繕の必要性をAからDランクの4段階で評価を行った。当該路線は、AからBランクが大部分を占めており、現時点では路線全体での舗装改修は計画していないが、一部で劣化の著しい箇所も見受けられるので、部分的な改修などの対応を検討したい。

## あつたか市政を問う



## ICT教育機器導入は県内60・63位（中学校）速やかな導入と機会の提供を！

**議員** 日経BP社による「全国公立学校情報化ランキング2016」によると、学校の情報化におけるインフラ整備の項目において、本市小・中学校が県内63市町村中56位、中学校が60位となっている。市内小・中学校のICT機器の導入状況はどのようであるか。

**教育部長** 各小・中学校にパソコン教室を整備し、それぞれ児童・生徒用デスクトップパソコン40台と教師用パソコン2台を設置している。また、実物投影機、移動式の大画面テレビなど、ICT関連の周辺機器も整備している。ただ、ICT機器はよりよい教育を行うための1つの手段であり、子どもの育成には環境整備と人材の両面が必要と考えている。特に人材面では、小学校で35人程度学級を実施し、教育全般にわたるきめ細かな指導を行っている。ICT教育の機会についても国が求める水準を満たしている。



電子黒板の活用イメージ 出典：文部科学省ホームページ

### 2020年必修化のプログラミング教育について

**議員** 文部科学省は2020年から小学校でのプログラミング教育必修化を検討すると発表しているが、見解はどのようか。

**教育部長** 物事を論理的に考える力を身につけることを目的としたプログラミング教育については、昨年6月に文部科学省の有識者会議で議論が取りまとめられたところであり、次期学習指導要領にこの



ふるかわ あゆみ

ように反映されるのか、今後の国や県の動向を見きわめ、適切に対応していきたい。

### 情報格差解消のための積極的なICT活用を

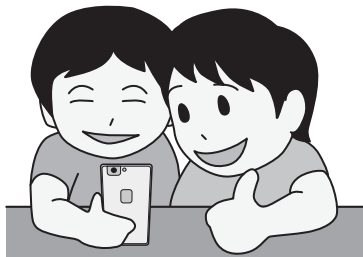
**議員** 進学や就職に差が出る情報格差（デジタルデバイド）解消のため、積極的なICTの活用をお願いしたい。

**教育部長** 情報格差とは、情報技術を使いこなせる者と使えない者との間に生じる格差であるが、この情報技術にはハード面の環境整備だけではなく、情報リテラシーや情報モラルといった人間の思考力・判断力・表現力の意味も含まれていると考えている。そのため、ハード面は今後も検討を重ねながら整備を進め、思考力等の情報化社会に必要な資源や能力は、学習指導要領による情報教育の実施だけではなく、少人数学級のメリットを活かしたきめ細かな指導・教育により、育成に努めているところである。

## 一般質問

## 市民にとって身近な情報の積極的な公表を（水道・露公園、防犯灯LED化スケジュールなど）

**議員** 蕨市の「情報の公表」は、現状では不十分であり不満である。当年度中、直近数年後の市民に身近な下水道・道路・公園などの土木系工事の予定、多くの市民が気になる防犯灯LED化のスケジュールなど、わざわざ尋ねないと教えてくれないのはおかしい。個人情報等の秘密情報ではなく、誰かに不利益をもたらしものでもないのに、積極的に情報を公表してほしい。



市のすべての情報をスマホで見られるようにしよう！

はネットを通じて、安価かつ手間もかからずに情報の公表が可能になった。まずはトップのマイナンドを変えてほしい。

**市長** 市民の皆さんに知らせることができ、あるいは知らせたほうがよい情報を積極的に公表することは、大事な取り組みである。事務負担に配慮しつつも、積極的な公表を私からも促していきたい。

### 高齢ドライバーの運転免許自主返納促進を

**議員** 高齢ドライバーによる悲惨で不幸な事故が増えており、市でもできることをやってほしい。埼玉県では自主返納者に対して、写真付き身分証明書として公的に使える「運転経歴証明書」のカードを発行しているし、蕨市は交通至便なまちなので、クルマがなくとも生きていける。高齢ドライバーに対して運転免許自主返納を促してほしい。

**市民生活部長** 本市では「運転経歴証明書」の提示により、



はや たけし

### 新築マンションの町会加入促進を

**議員** 町会活動は、日々の暮らしや、災害時の助け合いの場としてとても重要であり、加入率は高いほど望ましい。役職の担い手・後継者不足も問題となりつつある。分譲・賃貸マンション向けの町会加入施策はどのようか。

**市民生活部長** 埼玉県地建物取引業協会南彩支部との町会加入促進への協力体制の構築等を行っており、今後も加入促進策の検討が続けたい。

**議員** 新築マンションには、できるだけ全戸加入してもらえよう。不動産業者・オーナーに呼びかけていただきたい。交渉に当たる町会担当のサポートをお願いしたい。

# ふるさと納税は赤字ではないのか

**議員** ふるさと納税の寄附金額とその経費はどのようか。

**総務部長** 返礼品を始めた9月30日から11月末日まで、個人から17件54万9千円の寄附があった。経費は返礼品などに19万3千円程度と試算している。

**議員** 市民の方が市外に寄附することによる影響は。

**市長** 平成27年中の市民の方による市外への寄附額は約7千万円で、それにより市は約3千万円の税収減になっている。返礼品制度は、どちらかというとその流出を少しでも食い止めるという側面が強い。また、理論上は減収分の4分の3が地方交付税でまかなわれるので、今年度については経費も含めて約1千500万円をふるさと納税で寄附していたら、収支はほぼ均衡してくる。市のPRになるという部分を前向きにとらえて返



ふるさと納税の返礼品で人気の手焼き煎餅などのセット（写真はイメージ）



えのもと かずたか

**総務部長** 非常勤特別職の報酬に係る最高裁の判断として重く受けとめる必要があるものと考えている。

**議員** 蕨でもいつそのような事態になることも限らない。委員が病気などで長期欠席した場合に、報酬を支払わないとする条例改正を行う考えはないか。

**総務部長** 他団体の動向などを踏まえて調査・研究したい。

## 公園トイレの洋式化を

**議員** 公園トイレの洋式化率はどのようか。

**都市整備部長** 市内46の都市公園のうち、トイレが設置されているのは21か所、そのうち洋式化率は16%である。

**議員** 高齢者などから公園のトイレを洋式化してほしいという要望がある。市としての考えは。

**都市整備部長** 改修や新設のときに検討し、利便性の向上に努めていきたい。

## 行政委員の報酬について

**議員** 市長が「ふるさと納税でいくら集まりました」という話をする、聞いた人は市がそのお金をすべて使えるところだと思う。実態に即した説明をしていくべきだ。

**議員** 杉並区において、病気で長期欠席した選挙管理委員会委員に報酬を払い続けたのは地方自治法違反だという判決が出た。これをどのように受けとめるか。

# 蕨版「外国人児童・生徒日本語指導プラン」の策定について

**議員** 「蕨市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の報告によると、本市の外国人人口は平成27年1月1日現在3千851人、総人口に占める外国人の割合は約5.3%で、県内1位となっており、この数字にはさまざまなケースで蕨に來ている子どもたちも含まれている。外国人の児童・生徒が多いことは本市の特徴の一つであることから、今後の更なる増加や国籍の多様化に備えて、きめ細やかな日本語指導を行うための指導教室の設置や、その運営プランを策定

する考えはないか。

**教育長** 教育センターにおいて、各小・中学校に在籍している日本語が話せない児童・生徒を対象に、初期日本語教室を開設し、小・中学校への円滑な編入学が図れるようなプランを策定しているところである。今後も、各校における外国人児童・生徒の支援を継続することにも、外国人児童・生徒が円滑に学校生活を送れるように、問題の解決に向け、支援体制の充実を図っていく。

**議員** 今現実に、日本語を話せない子どもたちが急増している。早急に、教育現場の環境整備を進めてもらいたい。

## 給食の安定供給について

**議員** 夏の長雨による短い日照時間、相次ぐ台風の影響による水害などで、野菜の値段が高騰したため、材料が調達できず、給食の提供が中止になったというニュースがあった。

**議員** 本市でも、食材の高騰による給食提供の中止という状況が起こり得るのか。また、そうならないための対策はどのように立てているのか伺いたい。



まえかわ やすえ

**教育長** 本市においても、全国的な天候不順等による野菜の価格急騰の影響を受けているが、安全性の確保の面から原則、国内産食材を使用していることや、文部科学省が定める学校給食摂取基準に沿って献立を作成しているため、給食運営に苦慮しているところである。

このような状況下においても、食材の種類を見直したり、数か月先の天候等による食材の価格変動を予測しながら、保護者からいただく給食費の範囲内で、食材料費がまかなえるよう、安定した給食の提供に努めているところである。  
**ほかに** 「アレルギーや宗教上の理由で、特定食品が食べられない児童・生徒への給食の対応」について質問。

## あつたか市政を問う



外国人児童・生徒のための「初期日本語教室」の開設が計画されている教育センター



みやした 奈美 議員（日本共産党）

## 住宅困窮者への支援について

**議員** 国土交通省は、来年度予算の概算要求に、住宅セーフティネットの強化についての新たな仕組み構築のための事業費を盛り込んだが、本市における生活困窮者への住宅支援はどのようか。また、生活保護受給者、DV被害者への住宅支援は行われているが、それ以外の人の住宅相談窓口はどのようか。

**健康福祉部長**

生活保護受給者以外で、生活に困窮している方の相談窓口として生活自立相談支援センターを開設しており、その中で住宅相談にも対応している。市・県営住宅の募集状況の情報提供のほか、生活福祉資金貸付制度の案内、埼玉県あんしん賃貸住宅等登録制度に登録している市内のサポート店の紹介を行っている。また、住居及び就労機会の確保を目的とし、有期で家賃相当分の給付金を支給する住居確保給付金の申請案内をしている。

**議員**

空き家を活用した住宅

施策への考えはないか。不動産業者と連携して住宅困窮者を助けられないか。

**都市整備部長**

国の諮問機関

で、空き家等の有効活用についての議論が進められていて、今後、具体的な制度が策定される予定である。注視しながら研究する。

## 錦町土地区画整理区域の課題について

**議員**

昨年5月、日本共産党の衆議院議員が、衆議院総務委員会

で錦町土地区画整理事業の現状を取り上げ、「2016年3月末の進捗率は59.7%（移転棟ベース）で、家屋移転は年当たり20棟程度。残り619棟の移転完了まで30年以上を要する。交付金が5年前と比べて4割減、交付率も90%から33%まで激減している」と補助金が安定的に交付されないことを追及した。総務大臣は「住民の方々の人生に関わる状況が生じている。国庫補助予算の適切な確保が望まし

い」と答えた。財源確保は重要な課題である。今年度の財源確保についてはどのようか。

**都市整備部長**

昨年10月に

成立した国の補正予算の中で、錦町土地区画整理事業が該当したため、直ちに追加要望を行い、8千250万円が配分された。本年度当初の配分が、2億8千600万円の要望に対して7千150万円と厳しい状況だったが、今回の追加配分により、当初予定していた事業に近づけると認識している。

**ほかに**

「就学援助制度の新入学用品費の支給時期」について質問。



錦町土地区画整理事業で整備された地域より一層の事業推進に向けた努力が続く



みやした なみ

## 一般質問

梶原 秀明 議員（日本共産党）

## ぷらっとわらびは市民の足もっと便利に

**議員**

昨年の夏に実施したアンケートの結果はどのようか。

**市民生活部長**

無作為抽出と

バス車内とで、1千768件の回答を得た。利用目的は「買い物」3割、「公共施設利用」2割強、「通院」2割強など。ルート拡充では、逆回り運行

市役所への利便性、蕨駅への時間短縮を求める回答が多い。

**議員**

①今の停留所をできるだけ残すのは大事な考え方だと思っ

つがどうか。②駅と市役所を直行する新ルートを作り、塚越・南町から市役所へのアクセス改善の検討も重要だと思っ



ルートを便利にする検討が始まるぷらっとわらび

**市民生活部長**

①今の停留所をできるだけ残すことや利用していない人の利便性も考えて検討する。②議員の要望も踏まえ、総合的に検討する。

**市長**

高齢化が進む中で「ミニユニティバス」の存在意義は大きい。逆回りの要望が非常に強く、その検討が重要だ。なるべく多くの方の利便性向上に資するよう検討したい。

## 避難所と仮設住宅の対策

**議員**

市防災計画では大地震で全壊490棟、半壊1千383棟、1週間後の避難者4千8人と想定している。①避難所にベッドと間仕切りの設置を計画してほしい。②要配慮者への仮設住宅建設についてはどうか。③民間機関との仮設住宅設置の協力についてはどうか。

**市民生活部長**

①昨年度から

間仕切りテントの備蓄を開始。県がダンボール組合と協定締結しており、ダンボール製簡易ベッドや間仕切りなどが避難所へ供給される。②災害救助法適用の場合、市は県にバリアフリー型住宅の整備を要請し、建設されるよう努める。③災害時の応急対策活動協定を蕨建設業協同組合と締結している。建設埼玉、埼玉土建とも協定締結を協議中である。



かじわら ひであき

**議員**

ダンボール製品の現在の備蓄や今後の見通しは。

**市民生活部長**

現在は蕨高校に備蓄している。市施設への備蓄の検討も進めている。

## 高齢者医療の負担増問題

**議員**

厚生労働省では、75歳以上の医療保険料値上げや、70歳以上の高額療養費値上げを検討している。やめるよう意見を出すべきだ。

**市民生活部長**

全国後期高齢者医療広域連合協議会などが、昨年11月に現行制度を維持する等の要望を国に提出した。こうした動きを注視する。

**ほかに**

「公園の排水機能の改善」について質問。

## 現状は深刻 商店等を支える新たな対策を

**議員** 安倍政権と国民生活との矛盾は広がり、格差と貧困の拡大、中間層の疲弊という状況が生じている。蕨市政は、こうした支える立場を堅持してほしい。また、日本共産党蕨市議団の予算要望を新年度予算編成に活かすよう求める。

ところで、全国的に商店や飲食店が置かれた状況は厳しいが、市内の商店・飲食店数はどう推移してきたか。

**市民生活部長** 商店は平成19年6月に685店だったものが26年7月は474店に、飲食店は21年7月に513店だったものが26年7月に430店と減少した。

**議員** 商店街のにぎわい創出のためには空き店舗の解消は重要な課題である。市内空き店舗の現状と対策の取り組み状況、また、駅前商店街の「ぶらっと」の状況はどのような状況か。

**市民生活部長** 27年度末の中心市街地の空き店舗は56件（25年は33件）。空き店舗有効活用事業補助金を使った新規出店はこれまでに7件ある。



「クアッカ〜わらびチャレンジレストラン〜」

現在「ぶらっと」は、店舗運営体験などの機能を有する「クアッカ〜わらびチャレンジレストラン〜」として再開した。体験とセットでの「わらび創業講座」も実施しており、創業や出店につなげたい。

**議員** この間の取り組みは、にぎわい創出で一定の成果があった。一方、個別の状況からは異なる課題も見えてくる。既存の商店等も含めた直接の支援が必要である。いくつかの自治体で行われている「二ユーアル」や設備更新等への助成が必要と考えるがどうか。

**議員** これまでに日本共産党の国会質問もあり、国からは負担軽減策が示され対応が進んでいる。勤務時間の状況は、適正であるが、長時間にわたっている教職員もいる。在校時間の実態調査を継続し、引き続き負担軽減策を実施する。

**議員** 蕨市でも調査に続いて、対策委員会設置等の具体的な対応を検討すべきだ。

**ほかに** 「建設現場等の騒音対策」について質問。



市民生活部長 商工会議所と協議を重ね、検討したい。

**議員** 資金力のない商店等では、老朽設備の更新や店舗改装、時代の変化に合わせた事業転換等に足を踏み出せず、経営悪化や廃業につながる事例もある。支援は必要。経営診断等と併せた活用で一層の効果も期待できる。蕨の現状にあった形で検討してほしい。

### 教員の負担軽減推進を

**議員** これまでに日本共産党の国会質問もあり、国からは負担軽減策が示され対応が進んでいる。勤務時間の状況は、適正であるが、長時間にわたっている教職員もいる。在校時間の実態調査を継続し、引き続き負担軽減策を実施する。

**議員** 蕨市でも調査に続いて、対策委員会設置等の具体的な対応を検討すべきだ。

**ほかに** 「建設現場等の騒音対策」について質問。

## 小・中学校及び公共施設における防犯対策について

**議員** 小・中学校の児童・生徒が不審者に遭遇した場合の避難行動をどのように指導しているか。また、通報・報告体制はどのようなものか。

**教育長** 校内で不審者を発見した場合は、各校の危機管理マニュアルに基づき対応する。通報・報告体制としては、発見者は直ちに管理職に報告し、暗号化した緊急放送による避難指示や警察・119番の通報を行う。そして、教職員が役割分担し、児童・生徒の安全確保を図る。また、校外での不審者との遭遇に備え、防犯ブザーを鳴らす、大声で助けを呼ぶ、近くのお店、こども119番の家などに助けを求めること等を日常的に指導している。

**議員** 犯罪の抑止力という点では、防犯カメラの効果も大きい。校内にある「防犯カメラ作動中」の掲示板を、だれが見ても目に付く場所に、より大きく掲示してほしい。

次に、市内の公共施設に不審者が立ち入った場合の職員の通報・報告・避難誘導体制はどのようなものになっているのか。

**総務部長** 市庁舎については、蕨市庁舎管理規則で禁止している危険物の持ち込みや施設を破壊・損傷する行為など、秩序の維持、または災害の防止に支障を来すような行為をしようとする者に対し、職員が行う禁止や庁舎からの退去を命じ、従わない場合には速やかに警察へ通報する。これまで、公共施設等で職員に危害を加える等の事態が発生した際は、蕨市不当要求行為等対策要綱や対応マニュアル



市内に638件（H28.12.8現在）登録されている「こども119番の家」



下水管に起因する道路陥没について

**議員** 国土交通省国土技術政策総合研究所によると、全国の道路陥没の6割が下水管の陶管の不具合が原因で発生しているという。現在、市内の下水管で陶管を使用している割合はどの程度か。また、今後の対応はどのようなものか。

**都市整備部長** 下水道本管部分では陶管を使用していると、ころはほとんどないが、取付管については、おおむね4割程度が陶管によるものと推定している。今後、陶管の劣化に伴い陥没の発生が懸念されるため、管渠清掃等による劣化状況の把握や、下水道管路の長寿命化計画の中の本管への対策とともに、取付管についても必要に応じて改築・修繕等を実施していく。

ルに従い、職員が連携して利用者や職員の身の安全を確保し、速やかに警察へ通報する等の対応を行っている。



## 「こんなにちは、赤ちゃん」と言える環境づくりを産前産後サポート体制の充実

**議員** 市立病院の産婦人科診療体制の現状と（産休予定も含む）見込みはどのようか。

**病院事務局長** 平成28年12月現在の診療体制は、常勤医師5名、非常勤医師5名の計10名で、外来診療、産じよく健診、婦人科手術を行い、分娩は24時間、365日受け入れ可能である。今後2名の医師が産前産後休暇を取得する予定であるため、関連大学病院への医師派遣要請や、民間の紹介会社を通じた公募等を行い、医師の招へいに努めている。

**議員** 「安心して子どもを産み育てるまちの実現」について市長の見解はどうか。

**市長** 市立病院は市内で唯一の分娩可能な病院で、多くの市民も利用している。子育てしやすいまちづくりのために安心して分娩できる医療機関が身近にあることは非常に大事である。今後もこの役割を果たせるよう取り組んでいきたい。

**議員** 産後の家事・育児支援を民間に委託し助成している自治体が増えているが、蕨市でもファミリーサポート事業で家事支援などを行えないか。

**健康福祉部長** ファミリーサポート事業の内容は、子どもの一時預かりや送迎等、家事支援と異なるスキルを必要とするものである。運営母体の社協や会員の方々の意見等も聞き、研究していきたい。

**議員** 産後女性の約1〜2割が産後うつ症状を感じていると言われる。平成29年度から厚生労働省が産後2週間と1か月の産後うつ予防健診費用



みんな生まれも育ちも蕨です！（塚越在住の5人きょうだい）



おおishi けいこ

を助成するが、蕨市の導入についてはいかがか。

**健康福祉部長** 産後直後の女性支援は、産後うつ防止や児童虐待防止等のためにも必要である。今後の国等の動向を注視し、適切に対応していく。

## 高齢者地域支援事業について

**議員** 住民主体による介護予防活動「いきいき百歳体操教室」は、活動場所や世話人、サポーターなどの確保が困難なため、なかなか実施できない地域もある。また、塚越地区では認知症予防講座が全く開かれていない現状もあるが、今後、この地域格差をどのように考えていくのか。

**健康福祉部長** 塚越地区では東公民館の利用者が非常に多く、教室を連続で開催するための場所の確保が難しいという状況がある。地域格差解消のために、今後も活動場所についての市民への情報提供、情報収集に努めていく。

## 一般質問

## 将来の公共施設等のあるべき姿を示す「公共施設等総合管理計画」について

**議員** 自治体が所有管理する公共施設は、人口が急増し、都市化が進んだ1980年代から70年代に集中的に整備され、こうした施設が現在、一斉に更新時期を迎えている。総務省はすべての自治体に対し、部局別に管理をしていた施設

**議員** 市庁舎の耐震化整備は喫緊の課題であり、6月議会において「蕨市庁舎耐震化整備の早急な実施を求める決

**総務部長** 現在、部課長級職員12名で構成する蕨市経営戦略推進本部行財政運営部会において検討しており、今後は最終案を取りまとめ、パブリック・コメント等を経て、今年度中に計画を策定する。

**議員** 地方財政の状況は少子高齢化の進行等による社会保障費の高い水準で推移するなど、依然として厳しい状況が続いている。本市の平成29年度予算編成も、とても厳しいものになると予測されるが、今後の財政見通しはどうか。

**議員** 市庁舎の耐震化整備は喫緊の課題であり、6月議会において「蕨市庁舎耐震化整備の早急な実施を求める決

**総務部長** 市庁舎整備検討委員会において、現庁舎の耐震改修を在来工法と免震工法に、庁舎の建て替えを現在地と別敷地に分けた4つのパターンを基本とした複数のケースを想定して検討を行い、最終案を今年度中に取りまとめる。市立病院については、引き続き経営基盤の強化と経営の安定化を図るとともに、「公共施設等総合管理計画」の基本的な方針を踏まえて、耐震化に向けた対策を早急に検討する

**総務部長** 少子高齢化の更なる進展に伴い、市税収入の減に加え、さまざまな行政課題への取り組みによる経常経費の一層の増加が見込まれる。さらに、優先課題である公共施設の耐震化や土地開発公社の経営健全化などにも多額の財源が必要とされるなど、極めて厳しい状況が見込まれる。引き続き行財政改革と自主財源の確保に努め、安定的な財政運営に取り組んでいきたい。



市庁舎耐震化整備の早急な実施を求める

**議員** 市庁舎の耐震化整備は喫緊の課題であり、6月議会において「蕨市庁舎耐震化整備の早急な実施を求める決

**ほかに** 「蕨駅西口地区市街地再開発事業」について質問。



まつもと とおる

# 公園遊具の安全点検と 市民への周知について



修繕を終え、きれいになった西仲公園のブランコ

**議員** 公園遊具の安全点検はどのように実施されているか。今年度の安全点検の結果は具体的にどうであったか。また、修繕や撤去の計画はどうか。

**都市整備部長** 市内65の公園等のうち、遊具を設置している58の公園等で、遊具総数293基を対象に点検を実施し、11基の遊具で危険性が高い使用中止の判定。すぐに使用中止の措置を行い、順次修繕等を行っている。大荒田交通公園のすべり台は腐朽が著しく撤去。4基は修繕が完了し、5基のブランコは年内までに修

繕が完了できる見込みである。

**議員** 安全点検で問題があった遊具においては、黄色のテープが張られ、すぐに使用中止の対応が図られている。しかし、毎日利用している子育て家庭や地域住民にとってはいったいいつまで利用できないのか、撤去されてしまうのか分からない状態で長く置かれている。そこで、使用中止となつた経過や今後の計画についても、周知するような適切な対応が必要だと思つたがどうか。

**都市整備部長** おおむねの修理期間などを、現地やホームページ等を活用して、効果的な周知を行う。

## 保育行政の推進について

**議員** 2017年度に向けた保育園入園申し込みの受付状況はどうか。更なる認可保育園の増設についてはどうか。

**健康福祉部長** 新規349名、継続956名の合計1千305名の申し込みについて。



やまわき のりこ

申し込みがあった。立地や内容規模などを考慮して検討する。

## 介護保険制度について

**議員** 一般介護予防教室、ぴんしゃん教室の申し込み方法は。一覧表にするなどわかりやすい広報ができないか。

**健康福祉部長** 地域包括支援センターにおいて、電話や来所による受付をしており先着順である。工夫してわかりやすいお知らせをしていきたい。

**議員** 電話での先着順の申し込みは、高齢者にとって大変であるので、抽選方式にするなどの方法への改善が必要だと思つたがどうか。

**健康福祉部長** 提案の方法も含めて、よりよい応募方法を検討していく。

**ほかに** 「歯周疾患検診の拡充を」について質問。

## あつたか市政を問う

# 議会中継を実施しています!!



### ライブ中継

・ライブ中継はリアルタイムで本会議の様をご覧いただくことができます。

### 録画放映

・録画放映はライブ中継終了後、概ね7日程度で本会議の様をご覧いただくことができます。（平成27年9月以降の本会議を視聴可能です）

蕨市議会では、インターネットによる本会議の議会中継（ライブ中継・録画放映）を実施しています。普段、議会の傍聴のために市役所にいらしていただくことが難しい方でも、パソコンやスマートフォンなどでいつでも簡単に視聴することができますので、ぜひご覧ください。

### 快適にご覧いただくために

視聴者の皆様に快適に議会中継をご覧いただくために、下記の環境で視聴されることを推奨いたします。

#### ■OS

PC : Windows Vista以上、MacOSX以上

iPhone : iOS3以上

Android : Android 1.X以上

#### ■ブラウザ

Internet Explorer 8以降、Firefox、Safari、Opera、Chrome

（※CookieとJavascriptを有効にしてください。）

#### ■Flash Player

PC : Flash Player Ver10.3以上が必要です。

Android、iPhone : 不要



## 12